



樹人舎

【学校教育目標】 背振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成

【小規模特認校】 神埼市内のどこからでも通えます。

【コミュニティスクール】 「地域とともにある学校」 2年目（令和6年度～）

第20号

令和8年3月11日

神埼市立背振中学校

文責 校長 湊谷

<学校HP>



第79回卒業証書授与式を行いました。

3月6日（金）9時から本校武道館にて、第79回卒業式授与式が挙行されました。当日は神埼市役所建設部長の筒井章久様、市会議員の服巻玉美様、教育長職務代行者の成富健次様、教育委員の黒谷浩子様、学校運営協議会会長の鶴田良治様をはじめ、数多くのご来賓の方々、保護者の方々にお越しいただきました。当日は別れを惜しむかの如く、大粒の涙のような雨が降り、足もとのわるい中での式典となりましたが、心温まる感動、そして涙の卒業式を行うことができ、無事に卒業生を送り出すことができました。4月の沖縄修学旅行、中体連、中国山西大学附属中の来校、まるごと運動会、文化発表会、総合学習や生徒会活動などの日々の学習や学校生活はもちろん、各行事において卒業生は見事リーダーシップを発揮し、下級生を導いて成功を収めました。そのすべてが卒業生にとってはかけがえのないよい思い出になるでしょう。



本日、11日、県立高校の一般選抜の発表が行われました。高校に進学する皆さんは町中の大きな学校に進んでいくことに不安を感じている人もいるでしょう。おそらく進学先の高校において、あたらしいクラスの隣の席には、これまで生活を共にしてきた背振中学校の仲間たちはいないでしょう。でも決して悲観することはありません。なぜならそこにはきっと新しい友達や先輩、先生方との出会いが待っているからです。高校では背振中の仲間同様、今後の人生で長く付き合っていける一生の友達ができるかもしれません。学習や部活動に打ち込むことはもちろんですが、様々な人と学び、悩み、ふれあい、交流の場を広げてください。激動の時代

と言われて久しいですが、卒業生の皆さんなら時代の変化や厳しい国際情勢、困難を極める経済の状況をきつと乗り越えていけると信じています。

卒業生の保護者の皆様の労をたたえとともに、これまでの本校教育へのご理解、ご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

この道

金子みすゞ

この道の先には大きな森があらうよ	一人ぼっちの榎よ	この道を行こうよ
この道の先には大きな海があらうよ	蓮池の力エルよ	この道を行こうよ
この道の先には大きな都があらうよ	寂しそうな案山子よ	この道を行こうよ
この道の先には何か何かあらうよ	みんな みんなで行こうよ	この道をいこうよ

12名の卒業生の進んでいく「この道」に幸せあれ ご活躍を祈っています。

伊東玄朴生誕225年祭が行われました。



2月21日（土）、もみじの湯大広間にて標記の催しが行われました。伊東玄朴は我が国の近代西洋医学の道を開いた先駆者で仁比山出身です。本校からは1年生の〇〇さん、〇〇さんが参加しました。両名は昨年8月に伊東玄朴の足跡をたどる東京視察研修に参加しましたので、この日はその成果を発表してもらいました。当日は東京から伊東玄朴のご子孫の方も当地に来られ、出席されておられました。両名の発表は最初はやや緊張した面持ちでしたが、それでも立派に研修の成果を発表できました。

<3月後半、4月当初の行事予定>

3月18日（水）小学校卒業式

24日（火）修了式

25日（水）学年末・春季休業～4月6日（月）まで

4月 7日（火）始業式

9日（木）入学式

※5月12日（水）から新3年生は関西方面への修学旅行です。

12名の卒業生を送り出し、樹人舎は少し寂しくなりました。4月には5名の新入生を迎え、令和8年度は全校生徒数24名となる予定です。卒業生が残してくれた伝統と思い出を胸に、在校生は更なる成長を遂げてくれるものと確信しています。